

会津若松市地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
			第1編 第3章 第1節 6 火山噴火
1	意見等	構成機関	福島地方気象台
		「本市では、積雪期における融雪型火山泥流による河東地区の一部に水害被害や降灰による影響を受ける恐れがあります。磐梯山の火山活動が活発化し、噴火又はその恐れのある場合は、地域住民等に危険があると認められる場合において、その災害を軽減を図るため、」を、「本市では、河東地区の一部で積雪期における融雪型火山泥流の影響を受ける恐れがあります。磐梯山の火山活動が活発化し、噴火又はその恐れのある場合は、地域住民等に危険が及ぶと認められる場合において、その災害の軽減を図るため、」に修正。	
	理由等 (検討経過)	表記の適正化 (融雪型火山泥流の解説として、水害や降灰としているとも考えられるが、別の災害であり、ここでは使わない方がよい。)	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第1編 第3章 第6節 2 (1) 噴火警報等の伝達
2	意見等	構成機関	福島地方気象台
		「磐梯山は、福島地方気象台及び仙台管区気象台地域火山監視・警報センターにより、24時間体制で観測・監視するとともに噴火警報等の情報が発表され、県から県から総合情報通信ネットワーク等により市町村へ情報提供されます。」を、 「仙台管区気象台地域火山監視・警報センターは、24時間体制で磐梯山の観測・監視を行い、火山活動状況に応じて噴火警報等の情報を発表し、福島地方気象台から県や関係機関に伝達され、県から総合情報通信ネットワーク等により市町村へ情報提供されます。」に修正。	
	理由等 (検討経過)	表記の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第2編 第4章 第6節 2 (1) 噴火警報等の種類
3	意見等	構成機関	三浦委員
		「火山の状況に関する開設情報」と記載があるのを「火山の状況に関する解説情報」に、「火山活動開設資料」と記載があるのを「火山活動解説資料」と修正すべき。	
	理由等 (検討経過)	誤字の修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第2編 第4章 第6節 2 (1) 噴火警報等の種類
4	意見等	構成機関	福島地方気象台
		噴火警報等の種類の表を会津若松市別紙1に差し換える。	
	理由等 (検討経過)	気象庁における要領等の改正による。	

会津若松市地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

5	該当箇所	ページ	該当項目
意見等	構成機関	福島地方気象台	
	伝達系統の図中、福島地方気象台→東北地方整備局福島河川国道事務所、福島地方気象台→北陸地方整備局阿賀川河川事務所、福島地方気象台→NHK福島放送局放送機関の「◆」を削除し、県(危機管理総室)→会津若松市、会津若松市→地域住民観光客に「◆」を追加するとともに、脚注の「2「◆」は、防災情報提供システム(送達報)を用いた情報伝達を示す。」を、「2「◆」は、火山現象警報、火山現象特別警報、火山の状況に関する解説情報(臨時の発表であることを明記したものに限り。)及び噴火速報が発表された際に、活動火山対策特別措置法第12条によって、通報又は要請等が義務付けられている伝達経路。」に修正する。		
理由等(検討経過)	活動火山対策特別措置法に基づく修正。 防災情報提供システムの更新に伴い、送達報は廃止されるため		

6	該当箇所	ページ	該当項目
意見等	構成機関	福島地方気象台	
	福島地方気象台→北陸地方整備局阿賀川河川事務所を細線に修正する。		
理由等(検討経過)	活動火山対策特別措置法に基づく修正。 防災情報提供システムの更新に伴い、送達報は廃止されるため		

7	該当箇所	ページ	該当項目
意見等	構成機関	福島地方気象台	
	脚注に、「4 北陸地方整備局は、新潟地方気象台から伝達。」を追加する。		
理由等(検討経過)	活動火山対策特別措置法に基づく修正。 防災情報提供システムの更新に伴い、送達報は廃止されるため		

8	該当箇所	ページ	該当項目
意見等	構成機関	福島地方気象台	
	「仙台管区気象台火山監視・情報センター」を「仙台管区気象台地域火山監視・警報センター」に修正する。		
理由等(検討経過)	活動火山対策特別措置法に基づく修正。 防災情報提供システムの更新に伴い、送達報は廃止されるため		

9	該当箇所	ページ	該当項目
意見等	構成機関	三浦委員	
	会津若松市「磐梯山情報連絡系統図」が県の「磐梯山情報連絡系統図」と異なっているため、統一すべきではないか。		
理由等(検討経過)	県地域防災計画との整合。		

会津若松市地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3編 第6章 第1節 2(4) 避難勧告等の発令基準(火山災害)及び火山噴火警戒レベル
10	意見等	構成機関	福島地方気象台、福島県(災害対策課)
		表中、噴火警戒レベル4及び噴火警戒レベル5の範囲の「及び特定地域(大口位置や火山活動の状況により発令範囲を限定又は追加する場合あり)」をそれぞれ削除するとともに、脚注の*1の記述を削除してはどうか。	
	理由等(検討経過)	会津若松市において特定地域は存在しないため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3編 第6章 第1節 2(4) 避難勧告等の発令基準(火山災害)及び火山噴火警戒レベル
11	意見等	構成機関	福島地方気象台
		表の脚注番号「2」を削除し、「協議会等で対応を協議する必要がある。」を、「火山防災協議会等で対応を協議する必要がある。」に修正する	
	理由等(検討経過)	表記の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3編 第6章 第1節 2(4) 避難勧告等の発令基準(火山災害)及び火山噴火警戒レベル
12	意見等	構成機関	福島地方気象台
		<p>磐梯山噴火警戒レベルの表中の記述を以下のとおり修正する。</p> <p>レベル4の想定される現象等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火口から概ね4km以内の居住地域に大きな噴石が飛散するような噴火の可能性。 ●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼす噴火の可能性。 <p>過去事例 有史以降の事例なし</p> <p>レベル2の想定される現象等</p> <p>「有感知地震発生、」を、「有感地震発生、」に修正する。</p> <p>表の脚注</p> <p>*1の記述を「特定地域とは、居住地域よりも磐梯山の想定火口に近い所に位置する集客施設が含まれる地域を指す。居住地域より早期に避難等の対応が必要になることがある。」に修正し、「2 火口とは、銅沼付近の旧火口と沼の平火口をいう。」を削除する</p>	
	理由等(検討経過)	レベル表に合わせた修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3編 第6章 第1節 2(4) 避難勧告等の発令基準(火山災害)及び火山噴火警戒レベル
13	意見等	構成機関	佐藤委員
		※火口とは、銅沼付近の旧火口と沼の平火口をいう を削除	
	理由等(検討経過)	レベル表に合わせた修正	